

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 23 日現在

機関番号：62608

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2009～2013

課題番号：21320053

研究課題名(和文)文学・芸能・絵画をめぐる近世的表現様式と知の交流の研究

研究課題名(英文)Study on Pattern of expression in the Edo era literatures,arts and ukiyo-e

研究代表者

山下 則子 (YAMASHITA, Noriko)

国文学研究資料館・研究部・教授

研究者番号：40311162

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円、(間接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：この研究は、日本の近世の文学・芸能・絵画に共通して見られる表現様式を明らかにすることを目的としている。研究成果は、2013年に開催された展示とシンポジウム、それらも含めた研究成果報告書『図説 江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能』(全349頁・2014年3月・八木書店)である。

この本は、近世的表現様式を持つ作品の歴史的な背景や、学術的な位置づけなどを論じたものである。これらの解説や論文は、最新の研究を踏まえて、更に新しい発見を加えたものである。

研究成果の概要(英文)：Our purpose of this project is to become clear the common pattern of Japanese expression on Literature, Performing arts and Ukiyo-e in the Edo era. We held an exhibition and symposium at 2013. We published a book which named "Zusetsu Edo no Hyōgen Ukiyo-e, Bungaku, Gein"; (Illustration by pictures about Pattern of Japanese expression in the Edo era, on Literature, Performing arts and Ukiyo-e) at March 2014. This book contains 349 pages and was published by Yagi Shoten. We wrote articles about these historical background and academic significance. We added the new discovery to the latest study.

研究分野：日本近世文学・近世芸能・浮世絵

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：表現様式 近世文学 近世芸能 浮世絵 評判 句兄弟 縮景 風流やつし

## 1. 研究開始当初の背景

近世の文学・芸能・絵画には、独特の表現様式が共通して見られる。こうした表現様式は、かつて中村幸彦氏により「近世的表現」と概括されたことはあったが、日本文化の基底を理解する上で重要かつ魅力的なものであるにも関わらず、近世の専門性の高い学際的研究は今までなされていなかった。そのため、国内外に蔵される膨大な近世文学・芸能・絵画関係資料は、永らくその意味や魅力が理解されないまま放置されている。

## 2. 研究の目的

本研究は、日本の近世文学・芸能・絵画などに共通して見られる特色ある表現様式を、原典資料に即して明らかにすることを目的としている。研究を資料の上実践することによって、国内・在外古典籍に新たな解釈を加え、その価値を示す共同研究を実施する。

## 3. 研究の方法

本研究は、下記の方法により研究を行った。これらは同時並行的に実施された。

### (1) 資料の調査・収集(写真版・原本資料)

2010年度キオツソーネ東洋美術館蔵日本古典籍書誌調査、2010年度収集古典籍『奇妙図彙』等 2011年度収集古典籍『明和期役者俳諧摺り物』『吉原にわか番組』等。なお、上記古典籍資料の収集には、その費用の一部を国文学研究資料館運営費交付金より支出している。

### (2) 個別研究の実施

(3) 共同研究会の実施 2009年度 2回、2010年度 5回、2011年度 6回、2012年度 1回及び展示シンポジウムのための小規模な研究会 25回、2013年度 研究成果報告書作成にむけての小規模な研究会 18回。なお、上記共同研究会には、その費用の一部を国文学研究資料館運営費交付金より支出している。

### (4) データベースの構築

近世的表現様式を持つ作品の書誌的データ、表現様式の解説をデータベース構築した。

(5) 研究成果の発表(下記の4, 研究成果に詳述)

## 4. 研究成果

2009年度には、国際的な研究成果の公開として、AISTUGIA(イタリア日本学会)との連携である第3回日本文学国際共同研究集会において、「日本の笑い 文学・芸能・絵画の表現様式を基点に」と題した国際学術集会(於 イタリア、ミラノピッコカ大学)を開催した。その主な内容は以下の通りである。

・ Bonavventura Ruperti 「俳諧連歌における笑い」  
・ 山下則子「江戸の笑いの表現様式 番付と絵本」

・ 小林健二「『百鬼夜行絵巻』の滑稽性 お歯黒お化けと角三つの鬼」  
・ Matilde Mastrangelo 「話芸による笑い」  
・ Daniela Sadun 「エキゾチックで不思議な萬古焼の世界」

加えてその成果を、日本文学国際共同研究集会報告書『日本の笑い 文学・芸能・絵画の表現様式を基点に』(“Humor” in Japan)(pp103, 図版 35 図)として刊行し、国内国外の研究者に配布した。配布の後、掲載許可関係での送付必要がなく未配布であった、東京都立中央図書館や四日市の史料館などから、配布希望が寄せられた。

2010年度の国際的な研究成果公開として、アメリカ、コロラド大学ボルダー校での「Publishing the Stage : Print and Performance in Early Modern Japan」と題する国際研究集会で、招待研究発表「幕末役者見立絵の見立て 『見立三十六歌撰』について」(山下則子)を行い、好評を博した。

2011年度の国際的な研究成果公開として、イタリア、ボローニャ大学における第4回日本文学国際共同研究集会において、研究発表「『おもはく哥合』について」(武井協三)、「見立絵本『見立花づくし』について」(山下則子)を行い、好評を博した。また、国内の歌舞伎学会でも、招待学術講演「役者絵『見立三十六歌撰』について 文学と歌舞伎から」(高橋(山下)則子)を行い、好評であった。

2012年度の国際的な研究成果公開として、イタリア、フィレンツェにおけるAISTUGIAとの連携である第5回日本文学国際共同研究集会において、研究発表「見立ることばの力 絵本と歌舞伎」(高橋(山下)則子)を行い、多くの質問があった。

2012年度国内での研究成果公開は、10月17日～11月20日に、研究展示「江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能」(於 国文学研究資料館展示室 2,064名来場)を行った。併せて2012年11月3日にはシンポジウム「江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能」(於 国文学研究資料館大会議室 約90名)を開催した。また、展示リーフレット『江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能』(pp69 国文学研究資料館編)も無料で入場者に配布し、併せて国内国外の研究者に配布し、好評を博した。

2013年度は、2014年3月20日発行の研究成果報告書『図説 江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能』(pp349 国文学研究資料館編 八木書店発行)を出版した。なお、上記研究成果報告書の刊行には、その費用の一部を国文学研究資料館より「研究成果刊行助成」制度によって支援された。

ISBN978-4-8406-9689-0

『図説 江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能』の内容は以下の通りである。

## 第1部 絵画資料の様々

### 第1章 前代からの視点 中世から近世へ

- 第2章 役者見立絵 発生か定着まで
- 第3章 歌仙絵の展開
- 第4章 ことばの見立て 地口
- 第5章 見立絵本と開帳
- 第6章 句兄弟から絵兄弟へ
- 第7章 「評判」の様式
- 第8章 「やつし」と「縮景」
- 第9章 「尽しもの」と「揃え」
- 第10章 ジャンルの越境

## 第2部 「表現」の諸相

### 浮世絵の表現

江戸の長ぜりふ 享保期の役者絵とせりふ正本に注目して 武藤純子  
役者絵『見立三十六歌撰』の見立てについて 高橋(山下)則子  
鳥の趣向と遊戯文化 歌川芳藤「廓通色々青楼全盛」について 丹羽みさと  
役者見立絵 その発生から定着まで 浅野秀剛

### 文学の表現

芭蕉発句の「見立て」表現 和歌・初期俳諧から論じて「ヤツシ」との関係に及ぶ 金子俊之  
「句兄弟」の方法 後世の受容を中心に 稲葉有祐  
多色摺の源流 林羅山の詩箋資料 伊藤善隆  
江戸の職人歌合 吉丸雄哉  
近世的表現としての「序」・覚書 山本和明

### 芸能の表現

役者評判記における見立て評の系譜 倉橋正恵  
元禄歌舞伎の「やつし」芸 「をかし」と結びつき 佐藤恵里  
近世芸能の表現 身体表現としての「芸」 原 道生

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計36件)

高橋(山下) 則子、「馬鬣」の光秀と臯月歌舞伎『時桔梗出世請状』の素材」、江戸文学、41号、2009年、p121-136、査読有

高橋(山下) 則子、「黒本仕立地口絵本『ぢぐち』について」、見立て・やつしの総合研究プロジェクト報告書、5号、2010年、p47-53、査読無

高橋(山下) 則子、「江戸の 笑い の表現様式 番付と絵本」、日本の 笑い 文学・芸能・絵画の表現様式を基点に、2010年、p37-58、査読無

武井 協三、「碁盤の上のカラクリ人形」、総合研究大学院大学葉山高等研究所フォーラム報告書、7号、2009年、p150-161、査読無

井田 太郎、「一蝶の文事と絵事 芭蕉と其角と」、江戸文学からの架橋、2009年、p243-272、査読無

井田 太郎、「日本橋という型の成立と解体」、日本文学、58-10号、2009年、p52-62、査読有

小林 健二、「天狗説話の視覚的展開 『是害防絵』と能 善界」、平安文学と隣接諸学第10巻『王朝文学と物語絵』、2010年、p449-470、査読無

加藤 定彦、「俳諧大衆化の二方向 形式の縮小化と数量の拡大化」、大衆文化B、2010年、p40-52、査読有

Noriko TAKAHASHI The Meaning of Caricature in Yellow-Bound Books UKIYO-E CARICATURE、2011年、p17-26、査読有

高橋(山下) 則子、「『道化生花』について」、近世風俗文化の形成 忍頂寺務草稿および旧蔵書とその周辺、2012年、p169-198、査読有

小林 健二、「能の絵画的展開 二つの新出資料をめぐって」、中世の芸能と文芸7巻、2012年、p338-364、査読有

高橋(山下) 則子、「役者絵『見立三十六歌撰』について 文学と歌舞伎から」、歌舞伎研究と批評、49、2013年、p13-29、査読有

小林 健二、「能から物語草子へ 『玉井』と『かみよ物語』絵巻」、國學院雑誌、114号、2013年、p37-53、査読有

他

[学会発表](計19件)

高橋(山下) 則子、「江戸の 笑い の表現様式 番付と絵本」、AISTUGIA・国文学研究資料館連携第3回日本文学国際共同研究会、2009年9月、ミラノ・ピッコカ大学

山下 則子、「幕末役者見立絵の見立て『見立三十六歌撰』について」Publishing the Stage: Print and Performance in Early Modern Japan 招待研究発表、2011年3月5日、アメリカ・コロラド大学ボルダー校

山下 則子、「見立絵本『見立花づくし』について」AISTUGIA・国文学研究資料館連携第4回日本文学国際共同研究集会、2011年9月、イタリア・ポローニャ大学

武井 協三、「忍頂寺文庫の芸能資料『女意亭有嘸』を中心に」近世風俗学の形成 忍頂寺務草稿および旧蔵書とその周辺シンポジウム基調講演、2010年10月30日、大阪大学文学部

武井 協三、「『おもはく哥合』について」AISTUGIA・国文学研究資料館連携第4回日本文学国際共同研究集会、2011年9月、イタリア・ポローニャ大学

小林 健二、「『舞の本絵巻』研究における諸問題」奈良絵本・絵巻国際会議、2010年8月22日、聖徳大学

小林 健二、「酒呑童子物語の生成と展開 香取本『大江山絵詞』と能 大江山」伝承文学研究会、2010年9月4日、学習院女子大学

高橋(山下) 則子、「役者絵『見立三十六歌撰』について 文学と歌舞伎から」歌舞伎学会招待講演、2011年12月11日、東京学芸大学

高橋(山下) 則子、「『見立』ることばの力 絵本と歌舞伎」第5回日本文学国際共同研究集会、2012年9月22日、フィレンツェ Grand Hotel Baglioni

小林 健二、「物語絵となった能 絵巻・絵本、そして屏風絵」能楽学会招待講演、2012年5月13日、法政大学

神作 研一、「歌書刊本考 絵本・絵入本・色版・塾蔵版・近世後期歌書刊行年表など」写本・版本国際会議公開討論、2013年3月18日、慶應義塾大学

高橋(山下) 則子、「歌舞伎『お染久松色読販』と読本『今古奇観』第29話の影響」和漢比較文学会特別例会、2013年8月31日、中国・西北大学

神作 研一、「江戸の歌仙絵」奈良絵本・絵巻国際集会、2013年8月29日、慶應義塾大学

高橋(山下) 則子、「『風流・やつし』と『見

立て』 浮世絵を中心に」国文学研究資料館古典の日特別講演、2013年11月1日、ベルサール神田

高橋(山下) 則子、「近世期『隅田川』ものの変遷 松若の変貌」国立能楽堂公開講座、2013年12月18日、国立能楽堂

小林 健二、「国文学における物語絵研究の方法 「松風」絵巻・絵本の場合」大和文華館・大阪府立大学公開シンポジウム「文学と美術の出会い」招待講演、2013年12月14日、大和文華館

他

〔図書〕(計7件)

国文学研究資料館編(山下 則子・神作 研二・浅野 秀剛・武井 協三)、『江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能』展示リーフレット、2012年10月、pp69

国文学研究資料館編(山下 則子・神作 研二・浅野 秀剛・武井 協三)、『図説 江戸の「表現」 浮世絵・文学・芸能』、2014年3月、八木書店、pp349、ISBN978-4-8406-9689

他

〔産業財産権〕  
出願状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織  
(1) 研究代表者  
山下 則子 (YAMASHITA, Noriko )  
国文学研究資料館・研究部・教授  
研究者番号：40311162

(2)研究分担者

武井 協三 (TAKEI, Kyozo)  
国文学研究資料館・名誉教授  
研究者番号：60105567

神作 研一 (KANSAKU, Kenichi)  
国文学研究資料館・研究部・教授  
研究者番号：30267893

小林 健二 (KOBAYASHI, Kenzi)  
国文学研究資料館・研究部・教授  
研究者番号：70141992

井田 太郎 (IDA, Taro)  
近畿大学・文芸学部・准教授  
研究者番号：20413916

(3)連携研究者

浅野 秀剛 (ASANO, Syugo)  
大和文華館・館長  
研究者番号：70511137

延広 真治 (NOBUHIRO, Shinzi)  
東京大学・名誉教授  
研究者番号：00023630

加藤 定彦 (KATO, Sadahiko)  
立教大学・名誉教授  
研究者番号：80044733

佐藤 恵里 (SATO, Eri)  
高知県立大学・名誉教授  
研究者番号：80128793

原 道生 (HARA, Michio)  
明治大学・名誉教授  
研究者番号：30046031

ロバート キャンベル (Robert, CAMPBELL)  
東京大学・教授  
研究者番号：50210844

倉橋 正恵 (KURAHASHI, Masae)  
立命館大学衣笠総合研究機構・客員研究員  
研究者番号：90425017